伊豆シャボテンリゾート株式会社

2027年3月期
中間期決算説明資料



２０２７年３月中間期実績

単位：百万円

	2027年３月中間期	2026年３月中間期	前年同期比
売上高	**２，９７２**	２，８３９	＋４．７％
営業利益	**６３３**	６１６	＋２．８％
経常利益	**６６９**	６４２	＋４．１％
当期純利益	**４４９**	４４１	＋１．９％

６月及び９月の長雨の影響によりレジャー事業の入場者数は減少しましたが、主要施設である伊豆シャボテン動物公園の入園者数が堅調に推移したこと及び３月に新たにグループ入りした城ケ崎エリアが売上の増加に貢献しました。

各事業の説明

【レジャー事業】

- 売上高は入園者数が本年３月よりグループ入りした城ケ崎エリアの２施設が寄与し増加しています。主要施設である伊豆シャボテン動物公園及び伊豆ぐらんぱる公園は６月及び９月の長雨の影響により入園者数が微減したもののお客様単価の上昇を受け売上高は増加しています。

【アニタッチ事業】

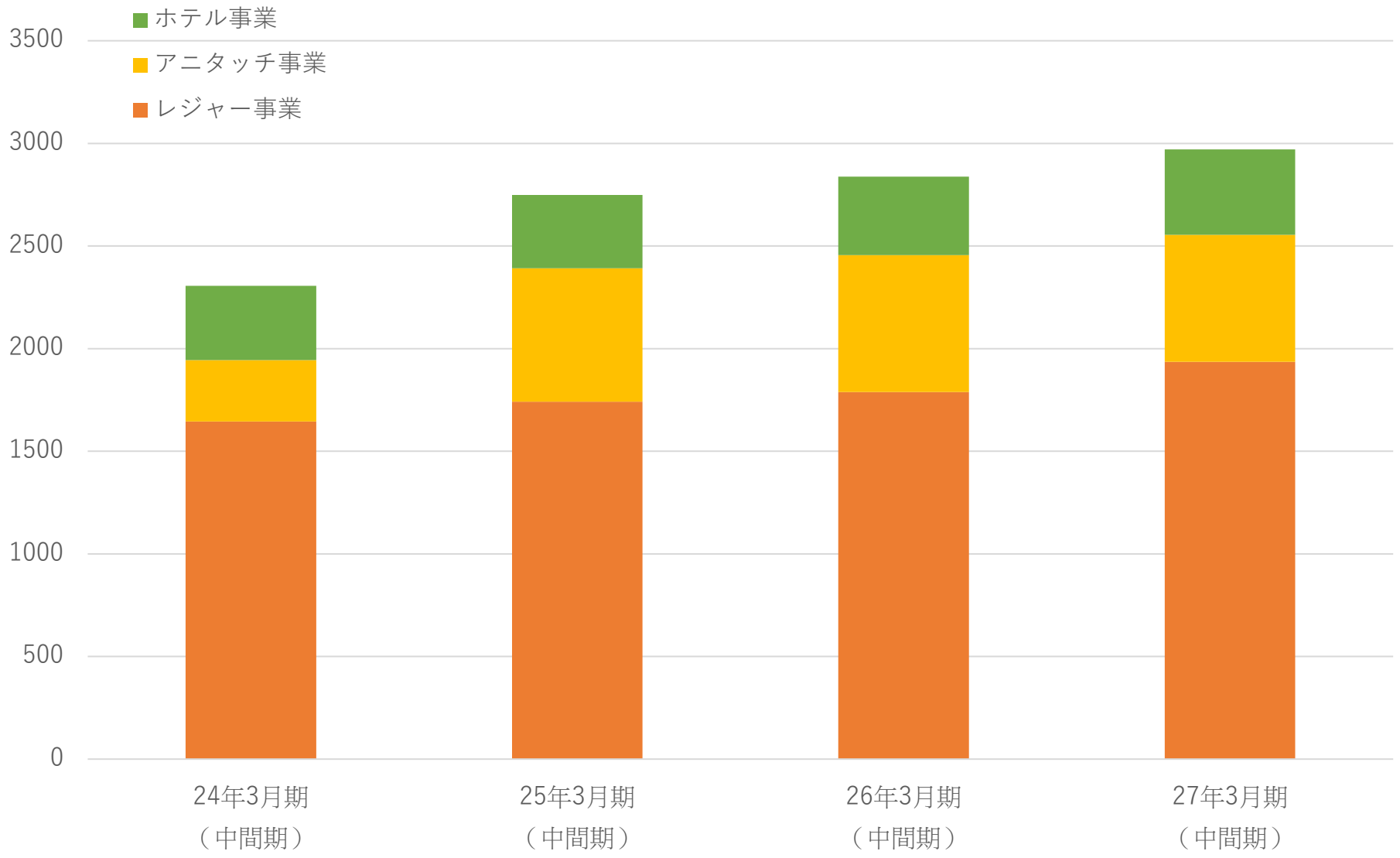
- 昨年度新規出店がないこと、および東京ドームシティの営業一時停止の影響のため売上高の減少を招いています。今年度において合計３店舗の出店が決定し、吉祥寺店においては１０月よりオープンしています。２９年３月期までに１２店舗規模への拡大については順調に推移しており、下半期に既存店も含めた業績の回復を期待しています。

【ホテル事業】

- スカイヒルホテル伊豆高原において新たな客室の増加が売上増に貢献しました。高価格帯の客室の拡充が利益に貢献しております。また、グランヴィレッジにおいてペット同伴宿泊に対応する客室への転換を図ったことにより、グランヴィレッジの宿泊者が増加しております。

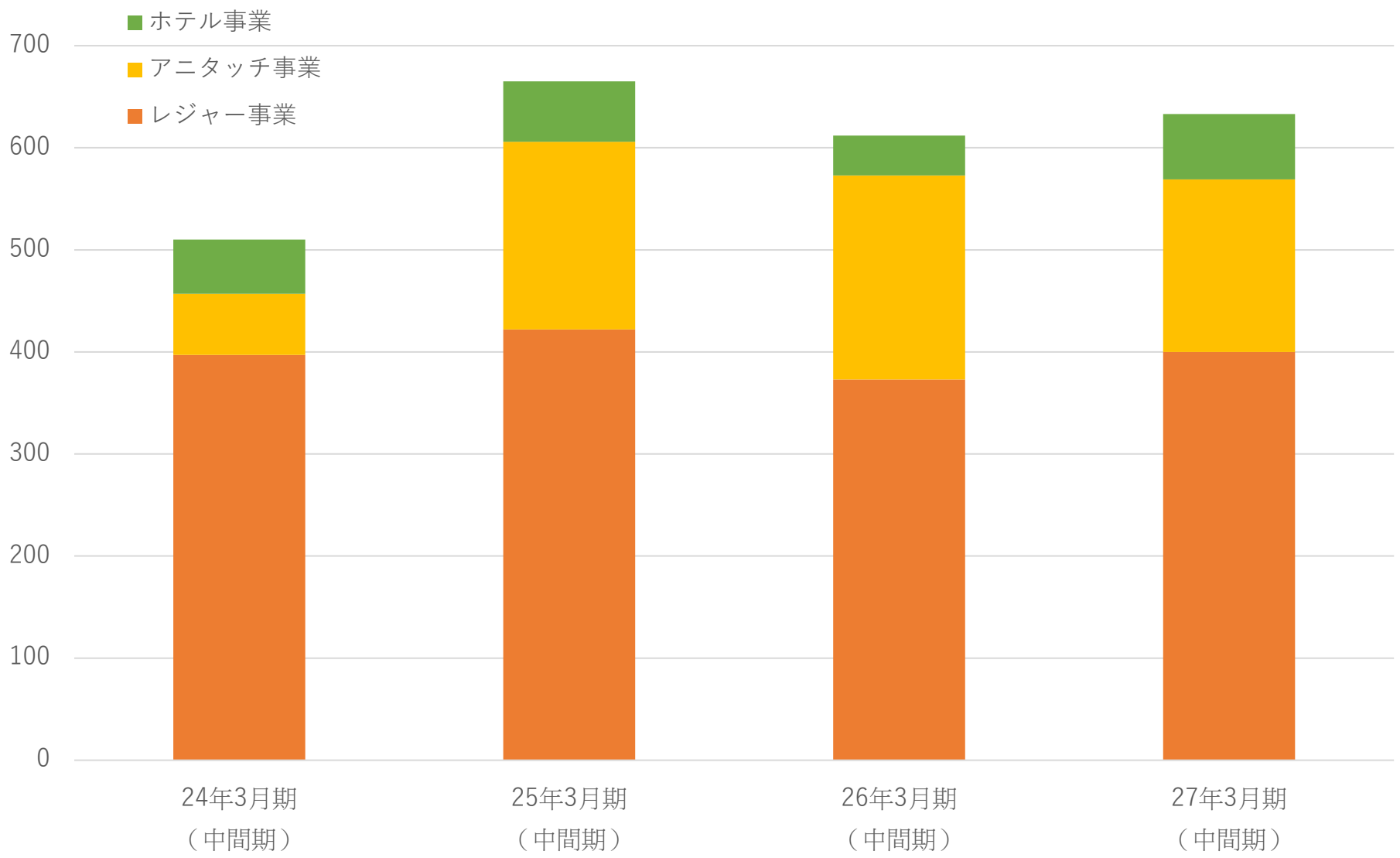
【売上高推移】
（2024年3月中間期～2027年3月中間期）

単位：百万円



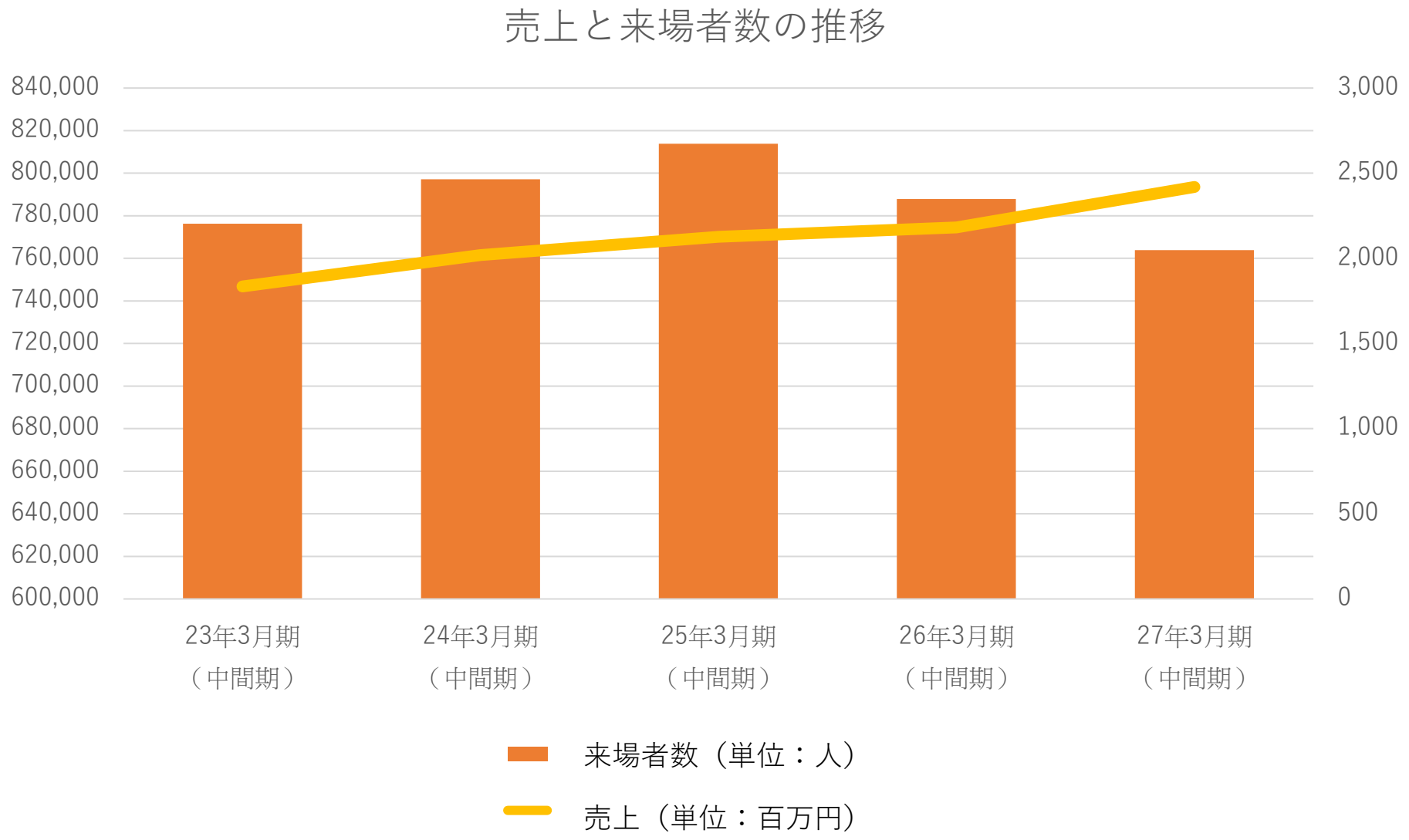
【セグメント利益推移】
（2024年3月中間期～2027年3月中間期）

単位：百万円



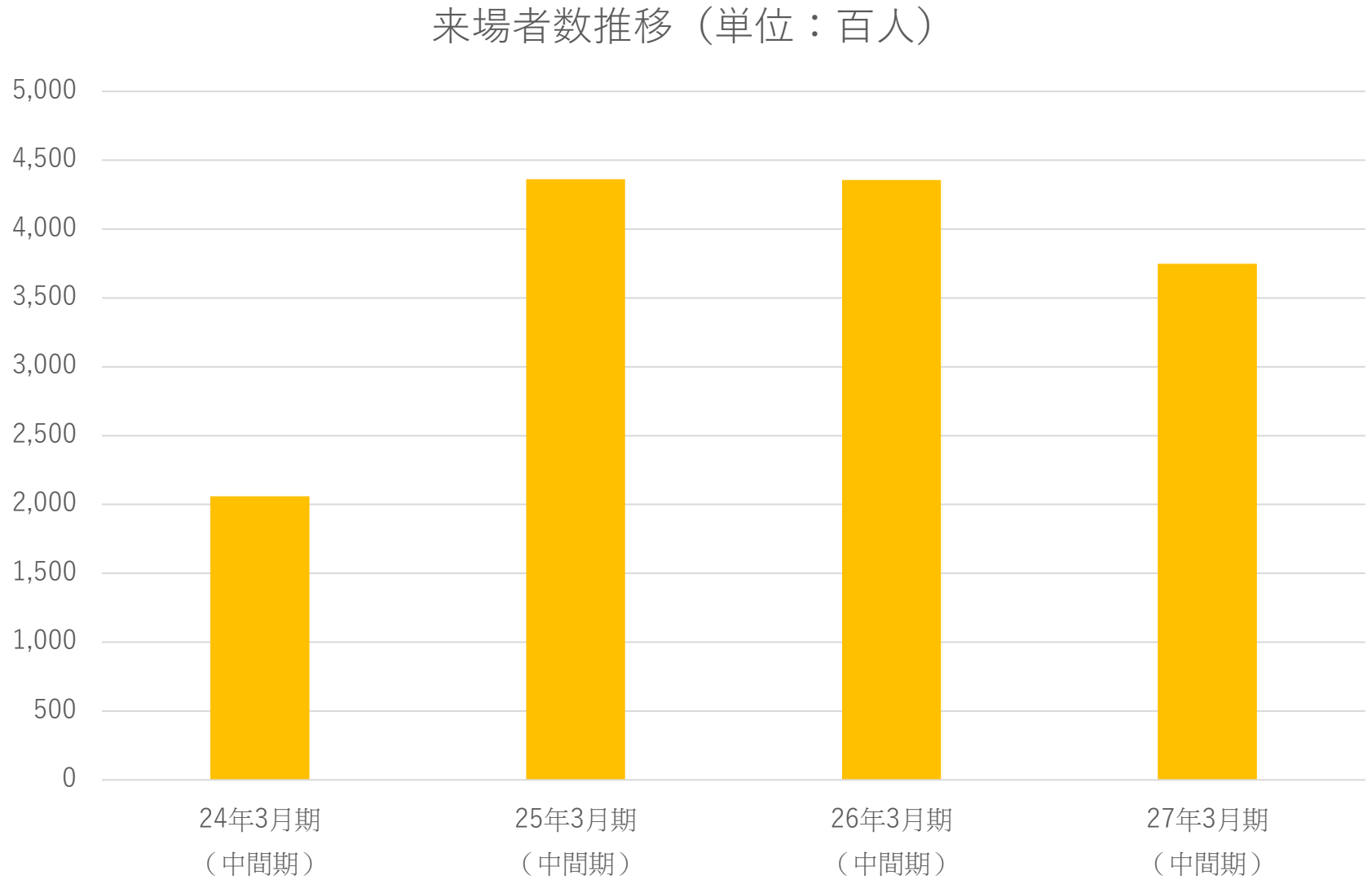
【レジャー事業】

来場者数は、６月及び９月の長雨の影響もあり昨年度比で3.4%低下したが、客単価が上がったことで、売上は3.8%増加し継続的成長を維持しました。



【アニタッチ事業】

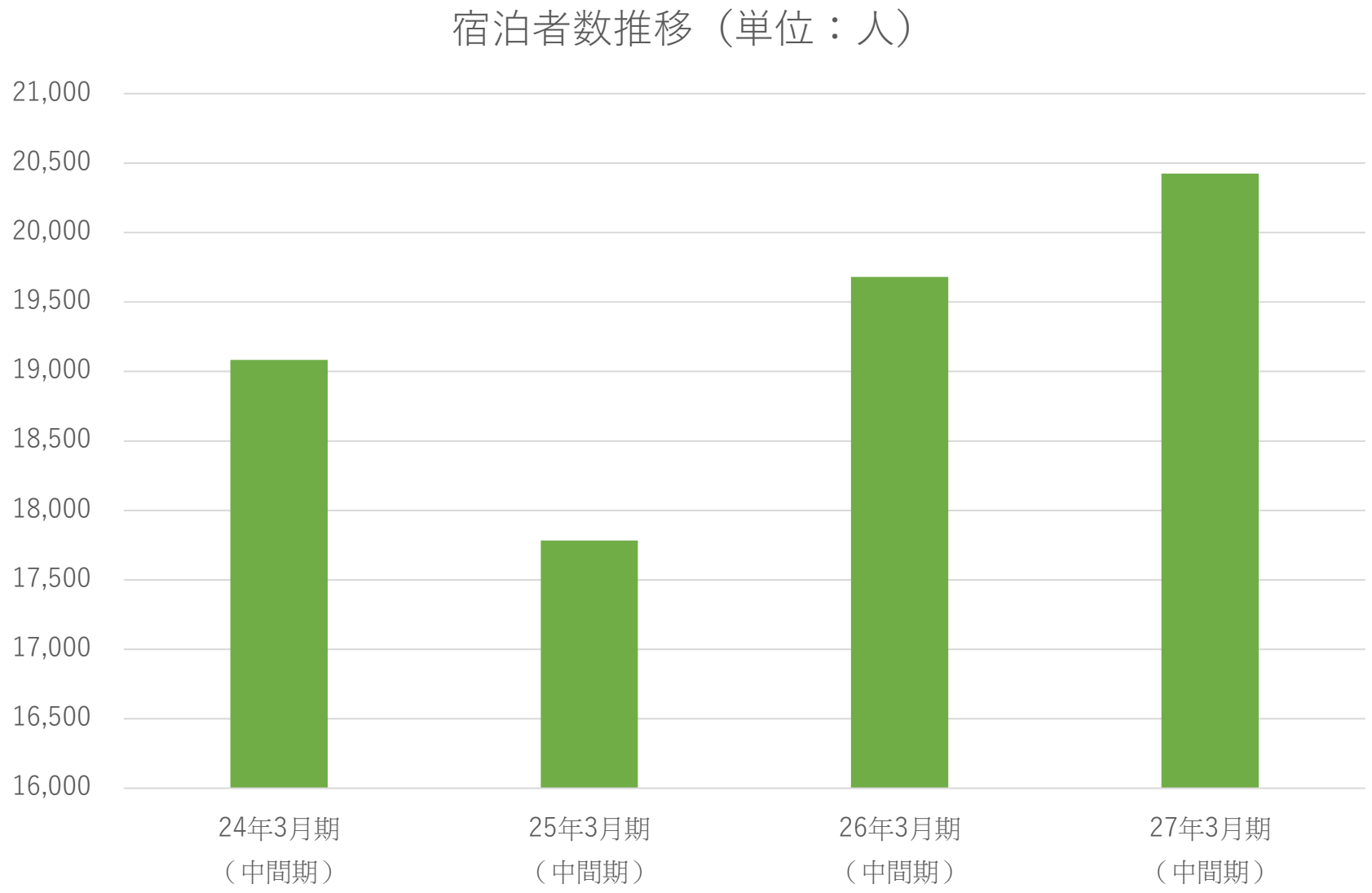
27年3月期は吉祥寺新規出店に加え、関西エリア初となる大阪なんばへの新規出店が決定。さらに有数の観光地となる鎌倉へも出店が決定し、現時点で期末においては９店舗を展開することとなります。



単位：百万円

【ホテル事業】

27年3月中間期はSKY-HILL HOTEL伊豆高原の客室リニューアルおよび拡充。
伊豆グランヴィレッジグランピングではプライベートドッグラン完備のワンちゃん専用ルームがニューオープン



免責事項

- 本資料に掲載されている情報には、業績予想・事業計画等の将来の見通しに関するものが含まれています。

- これらの情報については、現時点で当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、リスクや不確実亭をふくものです。当社としてのその実現や将来の業績を保証するものではなく、実際の業績はこれらの将来の見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

- 本資料は当社の情報提供を目的とするものであり、当社株式の購入や売却等の勧誘を目的としたものではありません。当社の有価証券への投資判断は、ご自身の判断で行うよう、お願いいたします。